

小金井市立中学校入学式へ向けてのお祝いの言葉

小金井市の象徴である桜に緑の葉が芽吹き、小金井市が輝く本格的な春が訪れています。新しい出発を祝う春爛漫の佳き日に、入学式を迎えられた新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

保護者の皆様、本日は立派に成長された制服姿の大切なお子様のご入学、誠におめでとうございます。三年間の中学校生活は子どもたちが「人として自立して生きる基礎」を育む大切な時期です。お子様のさらなる健やかな成長のために、これからも支えていただきますようお願いいたします。

本日は、新型コロナウイルス感染症から全ての市民の皆様の健康と命を守る様々な対策を継続している重要な期間です。私もやむなく入学式への参列が叶わず、楽しみにしていた新入生の皆さんの晴れ姿を拝見できず、とても残念です。

令和初の入学式を迎えられた新入生の皆さんはとても楽しみにしていた新しい舞台に立ちました。勉強や部活、地域との様々な交流や新たな体験を満喫してください。

これからの未来は、私たちの暮らしの利便性を高め、仕事にも大きな影響を及ぼすAI（人工知能）やICT技術等による変化や進化が激しくなる一方で、気候危機や新型コロナウイルスの猛威等々、予測困難なことも発生します。そして、どんなに時代が移ろうとも、いつまでも大切にしなければならないこと、人間として未来に向かって社会の中でたくましく生きていくうえで、決して失ってはならないことがあります。特に、今起きている問題の本質を「読み解く力」、困っている人や孤立している人を支える他者への「思いやりや相互理解」、社会をより良くするための「創造力」等が大切です。これらのことはAI（人工知能）には出来ないことです。

新入生の皆さんには、中学校生活の三年間、明るい未来をつくる担い手として、かけがえのない仲間との友情を育み、ともに語り学びあい、「自分らしさの種」を最大限に伸ばし、充実した中学校生活を送ってほしいと心から願っています。

小金井市は、歴史と伝統を踏まえつつ時代の要請に応え、個性と創造力を伸ばし、持続可能な社会の創り手を育む教育を目指し、自分らしさや自己肯定感を伸ばす「主体的・対話的で深い学び」、対話とつながりをこれからも大切にしていきたいと思います。

結びに、校長先生をはじめとする全職員の皆様、いつも見守っていただいている地域の皆様には子ども達のために引き続きご尽力賜りますよう心よりお願い申し上げます。新入生の皆さんの健やかな成長を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和2年4月7日

小金井市長 西岡真一郎